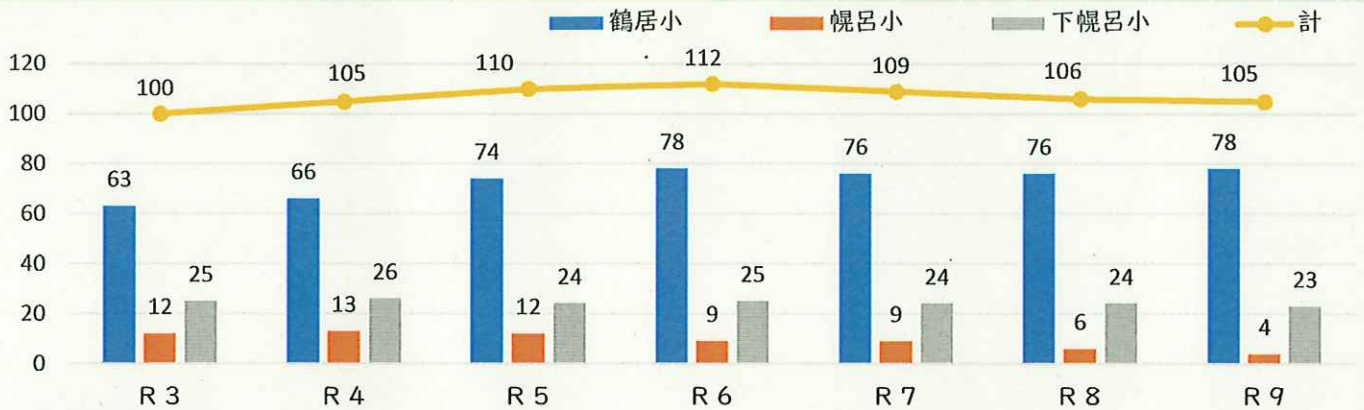


鶴居村立学校の学校規模の推移（見込み）

R4.2.17 教育委員会教育長

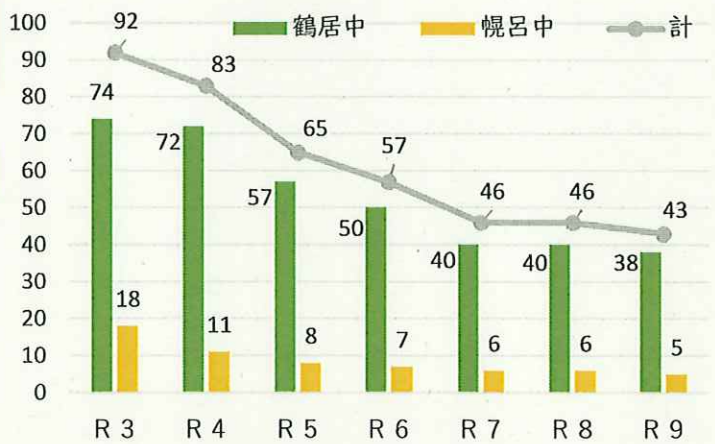
1 小学校児童数の推移

	鶴居小学校							幌呂小学校							下幌呂小学校							計
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計	
R3	9	10	8	11	8	17	63	2	3		3	3	1	12	4	3	3	3	7	5	25	100
R4	18	9	11	8	12	8	66	2	2	3		3	3	13	7	4	3	3	3	6	26	105
R5	16	18	9	11	8	12	74	2	2	2	3		3	12	4	7	4	3	3	3	24	110
R6	16	16	18	9	11	8	78		2	2	2	3		9	4	4	7	4	3	3	25	112
R7	6	16	16	18	9	11	76			2	2	2	3	9	2	4	4	7	4	3	24	109
R8	11	6	16	16	18	9	76				2	2	2	6	3	2	4	4	7	4	24	106
R9	11	11	6	16	16	18	78					2	2	4	3	3	2	4	4	7	23	105



2 中学校生徒数の推移

	鶴居中学校				幌呂中学校				計
	1	2	3	計	1	2	3	計	
R3	23	29	22	74	4	6	8	18	92
R4	21	22	29	72	1	4	6	11	83
R5	14	21	22	57	3	1	4	8	65
R6	15	14	21	50	3	3	1	7	57
R7	11	15	14	40		3	3	6	46
R8	14	11	15	40	3		3	6	46
R9	13	14	11	38	2	3		5	43



3 学校規模の推移

※教員には校長・教頭を含む

	鶴居小学校					幌呂小学校					下幌呂小学校					鶴居中学校					幌呂中学校				
	学級	教員	養護	事務	計	学級	教員	養護	事務	計	学級	教員	養護	事務	計	学級	教員	養護	事務	計	学級	教員	養護	事務	計
R3	8	11	1	1	13	4	5	1	1	7	7	9	1	1	11	5	12	1	1	14	4	9	1	1	11
R4	8	10	1	1	12	5	6	1	1	8	8	11	1	1	13	5	11	1	1	13	3	7	1		8
R5	8	10	1	1	12	5	6	1	1	8	8	10	1	1	12	4	10	1	1	12	3	7			7
R6	8	10	1	1	12	4	5	1	1	7	6	8	1	1	10	6	13	1	1	15	3	7			7
R7	8	10	1	1	12	4	5	1	1	7	6	8	1	1	10	6	13	1	1	15	2	5			5
R8	8	10	1	1	12	3	4			4	5	7	1	1	9	7	13	1	1	15	2	5			5
R9	7	9	1	1	11	1	2			2	4	6	1	1	8	6	13	1	1	15	3	6			6

4 小規模校の一般的な特長

	一般的なメリット	一般的なデメリット
生活面	<ul style="list-style-type: none"> ○子供相互の信頼関係や相互理解が強くなる ○子供一人一人を把握しやすい ○教職員と保護者との人間関係が密接になる 	<ul style="list-style-type: none"> ●交友関係が固定化しやすい ●活気が乏しくなりやすい ●切磋琢磨する機会が少なくなる ●良い意味での競争心が育ちにくくなる
教育活動面	<ul style="list-style-type: none"> ○個に応じた配慮ができる ○教材教具が活用しやすい ○施設・設備が余裕をもって使用できる ○指導が徹底しやすい ○学校行事等での活動の場が増える 	<ul style="list-style-type: none"> ●学びあいの場が持ちにくい ●多様な考え方に触れる機会が少ない ●クラス替えができない ●クラブ等の数が限定される ●学校行事等での役割が固定化する
教員の組織 学校経営面	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員間の相互の連携が密になる ○意思疎通が回りやすい ○業務と責任が明確になる ○指導方針がまとまりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ●教科数を満たす教員数の確保が難しい ●校務分掌が多く業務処理に追われる ●新任・若手教員の育成が難しい ●教員の創意工夫に限りがある

5 学校の小規模化に伴う具体的な影響

	小学校	中学校
教育活動面	<ul style="list-style-type: none"> ●学級の人数がグループを作れないような場合（1～3人程度） <ul style="list-style-type: none"> ・授業で多様な考え方に触れることが難しい ・対話により自分の考えを広げる機会が難しい ・体育などで集団活動の学びの機会が難しい ・学習活動の成果を発表する学校行事の意義が薄れる 	<ul style="list-style-type: none"> ●学級の人数がグループを作れないような場合（1～3人程度） <ul style="list-style-type: none"> ・授業で多様な考え方に触れることが難しい ・対話により自分の考えを広げる機会が難しい ・体育などで集団活動の学びの機会が難しい ・集団生活などを体験する修学旅行の意義が薄れる ・学習活動の成果を発表する学校行事の意義が薄れる ・部活動の練習が難しい
教員の組織 学校経営面	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援学級を含めて3学級以下の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・児童数11人未満は養護教諭の配置不可 ・児童数15人未満は事務職員の配置不可 ●普通学級3学級以下で児童数が15人以下の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・教頭が学級担任（負担増） ●普通学級1学級の場合は教頭の配置不可 	<ul style="list-style-type: none"> ●実技・実習系の教科担任を配置するには特別支援学級を含めて4学級以上必要（免許外教科担任対応） ●主要5教科の教科担任を配置するには特別支援学級を含めて3学級以上必要（免許外教科担任対応） ●特別支援学級を含めて3学級以下の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・児童数11人未満は養護教諭の配置不可 ・児童数15人未満は事務職員の配置不可

【定数（校長・教員）】

学級数	1		2	3		4	5
	併置校	単置校		15人以下	16人以上		
配置数	2		3	4	5	6	7
小学校	2		3	4	5	6	7
中学校	3	4	6	9		9	10

【定数（特別支援学級）】

学級数	1	2	3	4
配置数	1	2	4	5
小学校	1	2	4	5
中学校	1	3	4	5

【定数（養護教諭・事務職員）】

養護教諭	4学級以上 又は児童生徒数11人以上	事務職員	4学級以上 又は児童生徒数15人以上
------	-----------------------	------	-----------------------

6 学校の小規模化に伴う一般的な対応策

現状のまま	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用して村内他校の授業との連携機会を増やす（授業進度の違いの調整等が課題） ○村内他校との交流授業や学校行事を合同で実施（移動時間や授業進度、教育課程の調整等が課題）
小・中併置校化	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校と中学校を一つの建物に集約→要増築 ○小学校・中学校それぞれが教育課程を編成 ○校長は1人（2校扱い・他校兼務）→小・中の教職員の協働により学校行事等でマンパワーの集約が可能 ○養護教諭・事務職員は小・中の児童生徒数の計に応じて配置 ●児童生徒の教育活動面でのデメリットの解消にはつながりにくい
義務教育学校化	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校と中学校を一つの建物に集約→要増築 ○小学校・中学校の9年間通した教育課程を編成 ○一人の校長一つの教職員組織→小・中の枠を超えて教員が担任 ●児童生徒の教育活動面でのデメリットの解消にはつながりにくい
対応の視点	<ol style="list-style-type: none"> ①子供の育ちにとって、より良い教育環境を作るという視点 ②学校の設立経過、校区の歴史、地域との関わり等に留意する視点 ③教育行政の効率的な運用を図る視点

参考資料

1 北海道における学校の小規模化の状況

- ① 全道179市町村のうち 小1校・中1校は 45市町村 (25.1%)
- ② 全道179市町村のうち 小1校は 45市町村 (25.1%)
- ③ 全道179市町村のうち 中1校は 94市町村 (52.5%)
- ④ 鶴居村と人口同規模29町村のうち 小1校・中1校は 15町村 (51.7%)
- ⑤ 小学校992校・中学校566校のうち 小中併置校は 34校 (小学校の3.4%・中学校の6.0%)
- ⑥ 小学校992校・中学校566校のうち 休校は 8校 (小学校6校・中学校2校)
- ⑦ 小学校992校のうち 児童数が9人以下の学校は 38校 (休校を除く小学校の3.8%)
- ⑧ 中学校566校のうち 生徒数が9人以下の学校は 16校 (休校を除く中学校の2.8%)

2 同規模市町村の学校配置状況 (R3年4月人口が2,000~2,999)

学校数・児童生徒数は令和2年4月1日現在

	市町村	人口	小学校数(児童数)	中学校数(生徒数)	計	備 考
1	歌志内市	2,944	1 (55)	1 (46)	2 (101)	
2	新篠津村	2,942	1 (125)	1 (68)	2 (193)	
3	奥尻町	2,445	2 (72)	1 (29)	3 (101)	
4	寿都町	2,830	2 (121)	1 (67)	3 (188)	
5	黒松内町	2,717	2 (138)	2 (66)	4 (204)	白井川小児童数8, 白井川中生徒数7
6	喜茂別町	2,121	2 (72)	1 (41)	3 (113)	鈴川小児童数9
7	京極町	2,898	1 (134)	1 (80)	2 (214)	
8	古平町	2,850	1 (100)	1 (46)	2 (146)	
9	上砂川町	2,770	1 (77)	1 (41)	2 (118)	
10	妹背牛町	2,807	1 (100)	1 (64)	2 (164)	
11	秩父別町	2,347	1 (100)	1 (28)	2 (128)	
12	雨竜町	2,241	1 (101)	1 (41)	2 (142)	
13	沼田町	2,958	1 (90)	1 (57)	2 (147)	
14	愛別町	2,662	1 (91)	1 (65)	2 (156)	
15	南富良野町	2,357	2 (94)	1 (39)	3 (133)	
16	剣淵町	2,971	1 (105)	1 (82)	2 (187)	
17	小平町	2,978	2 (116)	1 (51)	3 (167)	
18	苫前町	2,935	2 (131)	2 (55)	4 (186)	
19	遠別町	2,533	1 (110)	1 (52)	2 (162)	
20	天塩町	2,930	2 (138)	1 (65)	3 (203)	
21	猿払村	2,694	4 (154)	1 (76)	5 (230)	
22	礼文町	2,379	3 (107)	2 (52)	5 (159)	
23	利尻富士町	2,365	2 (114)	2 (63)	4 (177)	利尻小鬼脇中(併)は児童数36生徒数13
24	幌延町	2,257	2 (120)	2 (57)	4 (177)	間寒別小・中(併)は児童数10生徒数3
25	置戸町	2,733	1 (112)	1 (50)	2 (162)	
26	滝上町	2,467	2 (87)	1 (42)	3 (129)	
27	壮瞥町	2,411	1(1) (95)	1 (66)	2(1) (161)	()は休校
28	陸別町	2,291	1 (98)	1 (44)	2 (142)	
29	鶴居村	2,513	3 (115)	2 (87)	5 (202)	

3 児童・生徒数が9人以下の学校（特別支援学級児童・生徒を含む）

学校数・児童生徒数は令和2年4月1日現在

小学校	1人	1校	北広島市・分校(併)
	2人	2校	積丹町・日司小, 八雲町・山崎小
	3人	1校	雄武町・共栄小
	4人	3校	旭川市・嵐山小(併), 豊富町・兜沼小(併), 紋別市・小向小
	5人	5校	札幌市・分校(併), 長万部町・静狩小, 旭川市・江丹別小(併)・旭川第一小, 西興部村・上興部小
	6人	4校	羽幌町・焼尻小(併), 枝幸町・乙忠部小, 遠軽町・分校(併), 弟子屈町・和琴小
	7人	2校	せたな町・若松小, 幕別町・明倫小
	8人	10校	札幌市・分校, 黒松内町・白井川小, 積丹町・野塚小, 豊浦町・礼文華小, 当麻町・宇園別小, 枝幸町・目梨泊小・風烈布小, 湧別町・開盛小, 音更町・南中音更小, 弟子屈町・美留和小
	9人	10校	千歳市・支笏湖小, 喜茂別町・鈴川小, 北斗市・茂辺地小(併), 八雲町・山越小, 上ノ国町・滝沢小, 富良野市・布部小(併), 枝幸町・岡島小, 利尻町・仙法志小, 遠軽町・瀬戸瀬小, 新得町・富村牛小(併)
	計	38校	
中学校	1人	2校	札幌市・分校, 羽幌町・天売中(併)
	2人		
	3人	2校	旭川市・江丹別中(併), 幌延町・問寒別中(併)
	4人	1校	豊富町・兜沼中(併)
	5人	1校	新得町・富村牛中(併)
	6人	2校	富良野市・布部中(併), 標茶町・塘路中(併)
	7人	5校	黒松内町・白井川中, 富良野市・麓郷中(併), 音威子府村・音威子府中(併), 稚内市・増幌中(併), 白糠町・茶路中(併)
	8人	2校	北広島市・分校(併), 千歳市・駒里中(併)
	9人	1校	標茶町・中茶案別中(併)
	計	16校	

4 釧路管内で、特別支援学級を除いた学級数が小学校5学級以下・中学校2学級以下の学校

市町村	学校名	学級数	児童数	市町村	学校名	学級数	生徒数		
小学校	釧路町	昆布森小	3	20	中学校	厚岸町	太田中	2	11
	釧路町	知方学小	2	16		標茶町	中茶安別中(併)	2	9
	厚岸町	太田小	3	15		標茶町	塘路中(併)	2	6
	浜中町	散布小(併)	3	23		白糠町	茶路中(併)	2	7
	浜中町	浜中小	4	32		鶴居村	幌呂中	2	13
	標茶町	磯分内小	3	21					
	標茶町	虹別小	4	37					
	標茶町	中茶安別小(併)	3	9					
	標茶町	塘路小(併)	3	10					
	標茶町	沼幌小	4	23					
	弟子屈町	川湯小	4	44					
	弟子屈町	和琴小	2	4					
	弟子屈町	美留和小	2	7					
	弟子屈町	奥春別小	2	14					
	白糠町	茶路小(併)	3	12					
	釧路市	山花小(併)	3	11					
	釧路市	阿寒湖小	4	50					
	釧路市	音別小	4	34					
	鶴居村	幌呂小	3	12					
	鶴居村	下幌呂小	3	25					

学級数・児童生徒数は令和2年4月1日現在

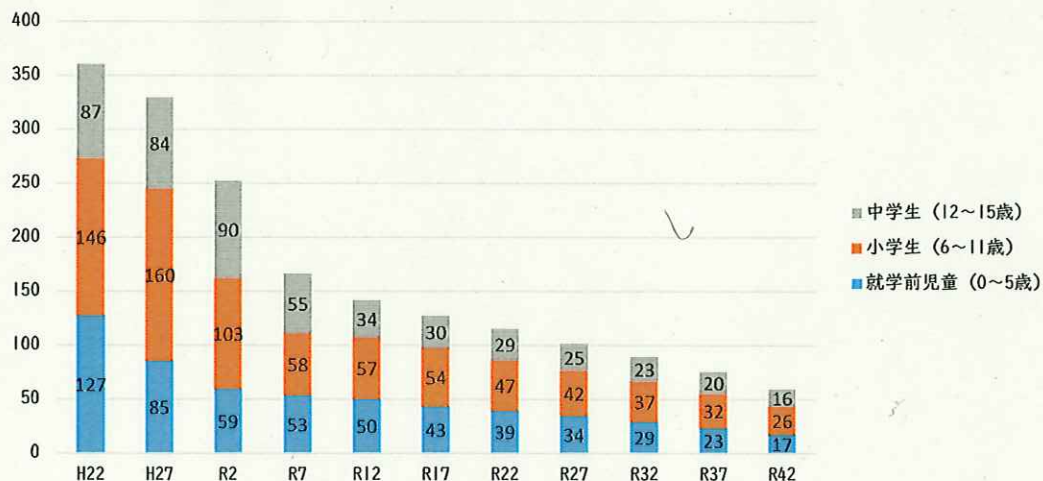
5 鶴居村立学校施設の改修等見込み（令和元年度学校施設長寿命化計画）

		建設年度	耐震	年間補修費（H26-30平均）	大規模改修の目安（築後30年）
鶴居小学校	校舎	2013（H25）	新基準	1,479 千円	2043（R25）
	体育館	1992（H4）	新基準		2029（R11）
幌呂小学校	校舎	1990（H2）	新基準	2,062 千円	2028（R10）
	体育館	1977（S52）	診断・補強済		2022（R4）
下幌呂小学校	校舎	1976（S51）	診断・補強済	5,934 千円	2021（R3）
	体育館	1981（S56）	診断・補強済		2025（R7）
鶴居中学校	校舎	1979（S54）	診断・補強済	7,499 千円	2023（R5）
	体育館	1979（S54）	診断・補強済		2024（R6）
幌呂中学校	校舎	1985（S60）	新基準	3,260 千円	2026（R8）
	体育館	1986（S61）	新基準		2027（R9）

6 鶴居村人口ビジョン（令和元年度改訂版）

就学前児童、小学生および中学生の人数への影響

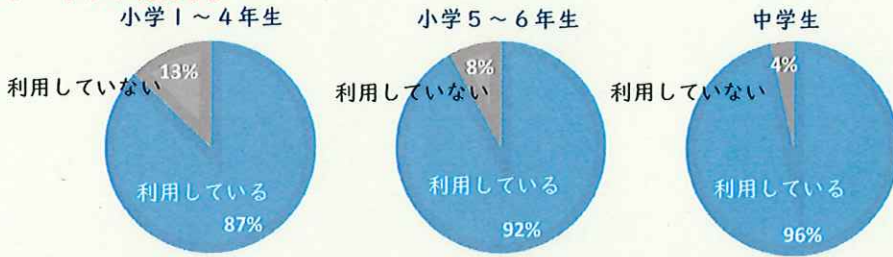
総人口の減少および少子化の進展とともに、児童数および生徒数は今後も減少することが予想されます。小学校児童数および中学校生徒数の減少に対応し、今後は複数学年が同一クラスとなる複式学級や小中学校統合等の検討が必要となると考えられます。



資料：平成22年～27年：住民基本台帳，令和2年以降：将来人口推計結果に基づく推計値

I 現状 「令和3年度鶴居村児童生徒生活実態アンケート」 (鶴居村生徒指導研究協議会)

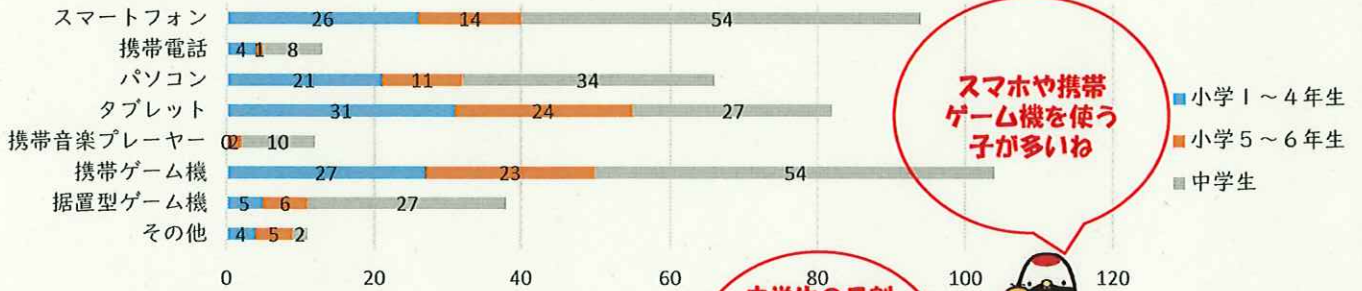
【インターネット利用率】




多くの子供たちがインターネットを利用しているんだね



【インターネットを利用している機器】




スマホや携帯ゲーム機を使う子が多いね



【インターネット利用時間】



中学生の7割は1日2時間以上ネットを利用しているよ



【インターネット利用内容】




インターネットを学習に使っている人は少ないようだね




【家庭のルールの有無】



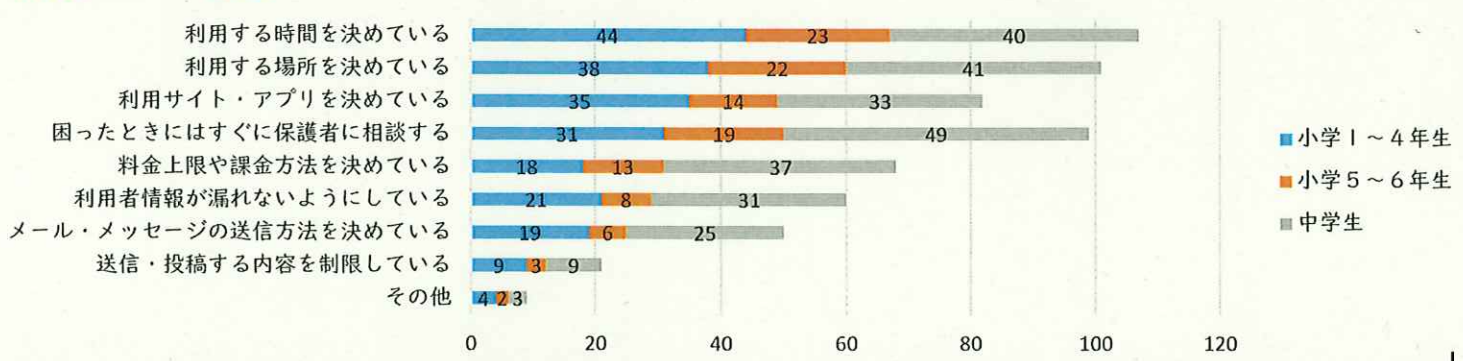
おうちではインターネットを使うときのルールを決めているんだね



みんな守っているかな



【家庭のルールの内容】



2 課題

学校でも小さなトラブルが…

- ・ラインでの悪口（小学生）
- ・SNSでのトラブル（中学生）
- ・オンラインゲームでの「嫌な思い」（小学生） など

SNSでの問題

- 言葉づかい
- 誤解
- 仲間外れ

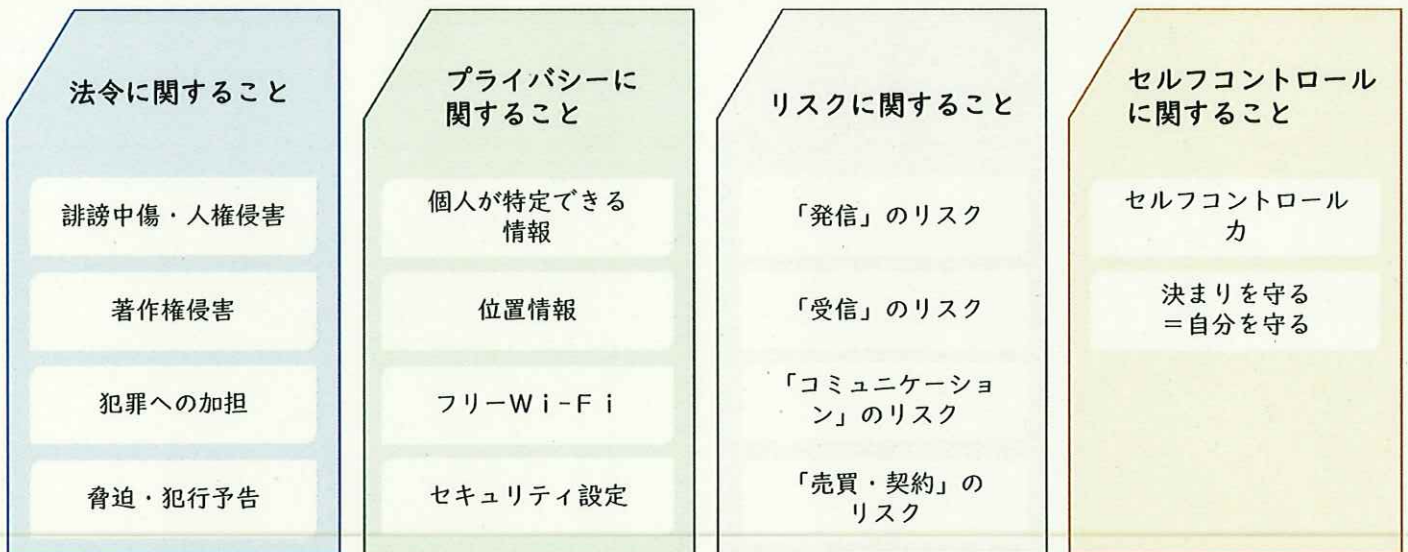
オンラインゲーム

- 課金の問題
- 時間の問題
- マナーの問題
- 個人情報の問題

3 学校における情報モラル教育の取組

小学校	○教科横断的な指導内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク上のルールやエチケットを理解し、積極的に守ろうとする。 ・有害情報が存在することを踏まえて学習する。 ・個人情報の大切さに気付き、プライバシーを尊重しようとする。 ・著作物についての意識を高め、正しく活用しようとする。 など
中学校	○学校教育活動全体の中で <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育～人権を尊重し、他者のいたみを共有できる人間性の醸成 ・生徒指導～温かい人間関係を育てる ・道徳～情報を発信する際のモラル（人権・プライバシー・知的所有権）など ・技術科～情報セキュリティ技術の学習、情報の安全利用の学習 など

4 保護者にも一緒に考えていただきたいこと（内閣府「保護者がおさえておきたい4つのポイント」から抜粋）



5 学校と家庭が連携した情報モラル教育の推進（教育委員会）

- ・児童生徒、保護者、地域住民、教師と一緒に学び、考える機会の創設（生活安全上の観点）
- ・児童生徒が自ら考える機会の確保（子ども会議など）
- ・SNSノート等を整備し、学校での活用を促進 など

1 国の部活動改革の方向性

- スポーツ庁：学校の運動部活動に代わり、地域において運動・スポーツの機会を将来にわたって確保・充実できるように、子供が地域でスポーツに親しめる環境を新たに構築
- 文化庁：学校の文化部活動に代わりうる継続的で質の高い多様な文化芸術活動の機会を確保できるように、文化部活動の地域移行に向けた体制構築や持続可能な文化芸術活動の環境を整備

- ・学校と地域が協働・融合し、地域の人材と希望する教員の参画を得て、令和5年度から段階的に部活動を地域に移行していく
- ・次期スポーツ基本計画における令和8年度の数値目標案「公立中学校等運動部活動について、すべての学校において地域移行に着手し、地域のスポーツクラブの所属している生徒の割合を14%から50%以上にする」ことを検討中。

■地域部活動

- 運営主体：退職教員・地域のスポーツ指導者・生徒の保護者等の参画
→ 総合型地域スポーツクラブ・民間のスポーツクラブ・芸術文化団体等
- 指導を担う人材：人材バンクの活用・地域人材の確保 → 希望する教員の兼職兼業の許可
- 費用負担：受益者負担の原則、国の支援策の検討

背景①

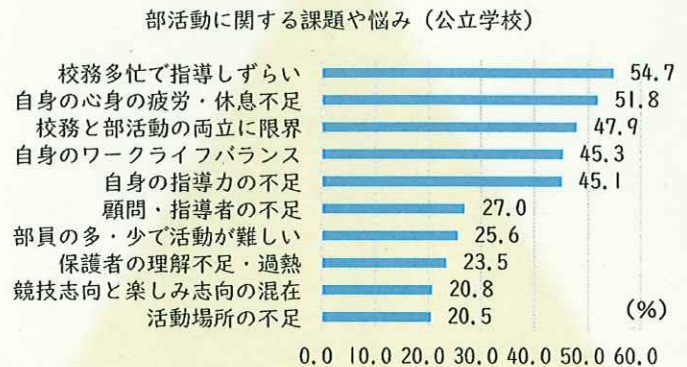
少子化に伴う部活動数・部員数の減少傾向



少子化に伴い、単一の学校では生徒のニーズに応じた多様な部活動を維持することが困難な状況が増加

背景②

学校の働き方改革（教師の負担軽減）



学校の教師のみに部活動の運営を頼ることは、教師側から見ても生徒側から見ても限界に近づいている

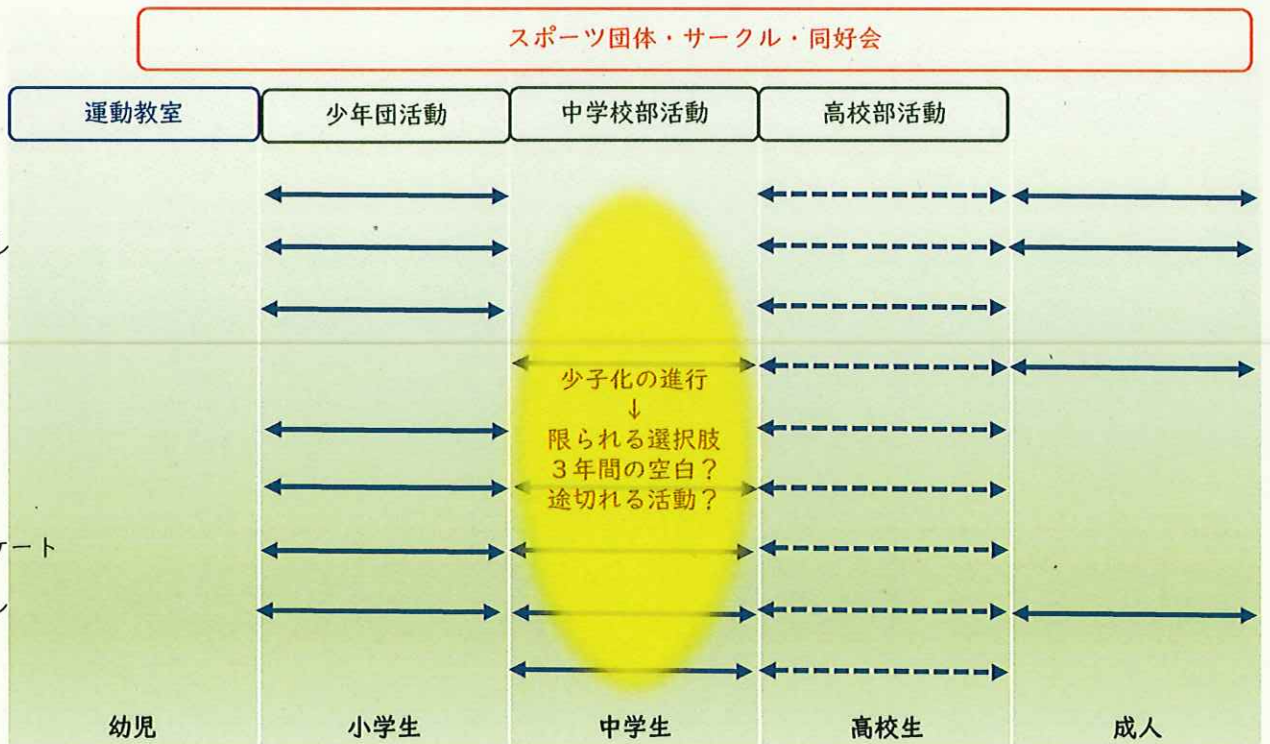
2 道教委が示した「部活動の地域移行」のモデル

学校の働き方改革と持続可能な部活動の実現とスポーツ・文化や経済活動の振興など地域の活性化を目指す。

市町村を核とする アソシエーション（組織）	市町村のスポーツ・文化協会 （総合型地域スポーツクラブ）	民間スポーツ（文化）クラブ・企業
<p>■小規模市町村を想定</p> <p>■部活動指導を希望する教員と地域人材により、学校種を超えて指導する体制を構築</p> <p>■部活動を取り込むことで、一貫したスポーツ・文化振興が可能</p>	<p>■中規模市町村を想定</p> <p>■一定の規模を有するスポーツ協会に部活動指導を希望する教員を所属させ、地域人材とともに指導する体制を構築</p> <p>■部活動を取り込むことで、一貫したスポーツ・文化振興が可能</p>	<p>■大規模市町村を想定</p> <p>■民間スポーツクラブに部活動指導を希望する教員を所属させ、トータルで指導体制を構築</p> <p>■部活動の民間開放による新たなビジネス分野の開拓</p>
<p>○生徒数が少ないため、学校種を超えて一体的に活動</p> <p>○上級生が下級生をピアサポート</p> <p>○大会参加のため、近隣市町村との連携も検討</p>	<p>○一定規模の民間団体のスケールメリットを活用</p> <p>○地域人材の活用（移住等の活用も視野）</p> <p>○合同部活動の実施も可能</p>	<p>○民間企業の競技力・指導力・組織力、ネットワークを活用</p> <p>○部活動の民間開放、産業障壁の除去、地域経済の活性化</p>

3 鶴居村の主なスポーツ・文化活動の場

少年団活動	スポーツ活動	【野球】 鶴居ビクトリーズ（加入児童数9人，指導者：地域住民・退職教員・保護者） 鶴居ビッグスターズ（加入児童数10人，指導者：教員・保護者） 【バレーボール】 鶴居ミルクーズ（加入児童数7人，指導者：退職教員・保護者） 【サッカー】 鶴居村サッカー少年団（加入児童数12人，指導者：地域住民・保護者） 【剣道】 鶴居剣道少年団（加入児童数7人，指導者：教員・保護者） 【スケート】 鶴居たんちょうスケート少年団（加入児童数15人，指導者：教員・保護者） 【一輪車】 下幌呂一輪車クラブ（加入児童数17人，指導者：保護者）
	文化活動	【カルタ】 鶴居小学校かるた同好会かるた〜ず（加入児童数13人，指導者：退職教員・保護者）
部活動	鶴居中学校	運動部 陸上競技部（加入生徒数 12人，指導教員：未経験者） ソフトテニス部（加入生徒数 22人，指導教員：未経験者） 野球部（加入生徒数 1人，指導教員：未経験者） スピードスケート部（加入生徒数 2人，指導教員：未経験者） 文化部 吹奏楽部（加入生徒数 13人，指導教員：経験者） 【加入率67.6%】
	幌呂中学校	運動部 バドミントン部（加入生徒数 12人，指導教員：経験者） 文化部 美術部（加入生徒数 1人，指導教員：未経験者） 【加入率72.2%】
クラブチーム等村学校外所属	鶴居中学校	運動部 ハンドボール（加入生徒数 2人，釧路市） サッカー（加入生徒数 6人，釧路市・標茶町） バレーボール（加入生徒数 2人，釧路市） フィギュアスケート（加入生徒数 1人，釧路市） バドミントン（加入生徒数 2人，幌呂中部活動） 【加入率17.6%】
	幌呂中学校	運動部 剣道（加入生徒数 2人，釧路市） 【加入率16.7%】
スポーツ団体サークル同好会	スポーツ協会	野球協会・バレーボール協会・ソフトボール協会・鶴居羽球同好会・幌呂バドミントン同好会・鶴居フットボールクラブ・テニス協会・など
	文化協会	混声合唱団など



4 鶴居村のスポーツ・文化活動の課題

- ①持続可能な部活動の在り方
- ②スポーツ・文化活動のリソース（人材・会場等）の把握 ➡ 地域活動の在り方検討組織
- ③指導者・運営母体等の確保